

# 令和3年度評価報告書

先日は、保育園に関するアンケートのご協力ありがとうございました。本園の保育士の自己評価とあわせて、結果を報告させていただきます。本園の現状をご理解いただければ幸いです。

## 1【本園の保育方針】

- ・一人ひとりを大切に。
- ・のびのびと遊べる環境づくり。
- ・伝承文化（わらべうた）を活かした保育。
- ・子ども主体で楽しい行事を。
- ・楽しい食事で健康に。
- ・家庭と園が力を合わせる子育てを。



## 2【保育理念】

- ・子どもを尊重し、保護者と連携して子育てを共にし、基本的生活習慣を確立します。
- ・遊ぶことで五感を使い、多くを学び自立心と創造性を育てます。

## 3【保育の特徴】

- ・0, 1, 2歳児は、育児を「担当制」で行い情緒の安定と信頼関係を育てます。
- ・3, 4, 5歳児は、縦割りの混合クラスで、小さい子は大きい子への憧れと、大きい子は小さい子への愛情と思いやりを育みます。
- ・「流れる日課」によって遊ぶ時間を最大限に作るとともに身の自律に向けて年齢や発達にあった援助を行います。

## 4【重点的目標、計画】

職員の自己評価を実施することによって、職員自らが客観的に自己や、自園を意識し、保育の資質向上に主体的に取り組んでいくことを重点項目とします。

## 5【評価項目の達成及び取り組み状況】

- 保育計画と内容**…保育所保育指針にのっとり全体的な計画を作成し、子どもの発達段階にあった内容になるようクラス担任は、年間保育計画、月案、週案等保育指導案を作成し、月末に反省と共に評価を行った。また、0・1・2歳児は、保育所保育指針に基づき個別計画を作成し毎月反省評価を行った。
- 保育のあり方、子どもへの対応**…保育士は、発達に応じた援助が出来るように研修に参加し、知識を深めた。また、肯定的な言葉掛けを意識し子どもの自己肯定感を高める努力をした。子どもが示す様々な欲求に適切に対応し信頼関係を築き、保育士が主導権を持つのではなく、子ども自身が自ら活動できる、子ども主体の保育を目指した。
- 環境構成**…保育室、園庭の遊具が安全かつ清潔であるように点検表に基づき点検を行った。昨年度に続き遊具や、子どもの手の触れるところを重点的に消毒し、感染予防に努めた。また、子どもが安定して遊び、興味関心、創造性を育む環境を整え、必要な遊具を揃え、時間を保証した。
- 研修・資質向上**…職員は、必要な知識や技能を身に付け人権に配慮した保育を行うための研修を8月に受けた。昨年に引き続き、オンライン研修にも積極的に参加した。個別の支援に関して発達について公認心理師と共に支援の方法を学び実践した。参加者は内容を総括し、全ての職員が研修内容を理解できるようにし、課題の分析と共に保育技術の向上にも努めている。園児に関する指導援助については、状況に応じ、クラス単位で公認心理師、主任、担当保育士等で勉強会を開催した。
- 保護者への対応**…必要に応じて保護者と面談等を行い子どもの成長を共に考え共通理解に努めた。また、保護者の意見を真摯に受け止め対応するよう心がけ、園の保育方針として出来ること出来ないこと等、整理してお伝えし話し合いの場も設けた。

## 6【具体的な目標や計画の総合的な評価結果】

子どもたち一人ひとりが、より良い環境の中で安定した生活が送れるように保育士は子どもの様子や保育記録を通して、自らの保育実践を振り返り、達成できたこと、出来なかったことを自己評価した。今後、評価した結果に基づき、研修等への参加機会を充実させ、保育士の資質及び専門性の向上に努めていきたいと思います。

## 7【今後の目標、課題】

コロナ禍でも子どもたちの権利を遮らないように出来ることを見極める視点が必要だと考えます。そのためには、子どもの発達段階に応じた援助への専門性を更に深めていきたいと思います。

保護者アンケートを行うことで、保護者の満足度、求められる保育園の姿など把握し確認することができました。少数意見も貴重な意見とし、職員間で話し合い、共通理解することで保護者に満足していただけるように努めていきます。

※保護者の方のアンケート結果は、  
左記の通りです。  
**(回収率：91%)**  
整数で四捨五入しています。

	A	B	C	D
① 本園の教育方針を理解している	52	48	0	0
② 子どもさんは、保育園に行くことを楽しみにしている	65	31	4	0
③ 保護者は、安心して保育園に通わせている	76	24	0	0
④ 保育園は、園児を理解し、園児の育ちを援助している	67	29	2	2
⑤ 当園の行事（入園時、配布しおり参照）は園児にとって充実した物になっている	48	29	9	14
⑥ 職員に子育てや相談事を気軽にできる	55	36	9	0
A：あてはまる B：大体あてはまる C：あてはまらない D：わからない (%)				

昨年度は57%でしたが今年度は76%の方に全ての項目で「あてはまる」「大体あてはまる」の評価をいただきました。  
また、教育方針については提出されたすべての方が理解してくださっている結果ができました。保育方針は保育の土台です。  
園の方針をご理解して頂きありがとうございました。貴重なご意見、質問も頂きました。

### ＜職員に子育てや相談事を気軽に出来る＞

「あてはまらない」が昨年より3%増えています。昨年度同様コロナ禍で、3・4・5歳児の受け渡しを玄関で行い担任と直接話す機会が減ったことが大きな原因だと思います。コロナが拡大している状況では子どもたちの安全を第一に考えさせていただきます。担任に相談したいこと等ありましたら面談等は随時行っています。担任はなかなか時間が取れない場合もありますが些細なことでも声をお掛けください

### 保護者アンケートから

### ＜写真購入について＞

園でも写真購入の業者さんや職員間での話し合いを続けています。写真購入のアプリなどを導入した場合、個人情報をご自分で守れるのか、守って欲しい方は、写真に写らないため購入できないのか等細かい配慮が難しいのが現状です。様々な理由があることもご理解ください。

### ＜行事予定を早めに知らせて欲しい＞

詳細については日程が近づいてからお知らせしていますが、年度初めに一年間の行事予定表をお渡ししています。そちらでご確認ください。

### ＜小学校に上がるまでに水着の着脱が出来るようになってほしい＞

コロナ禍前は、1・2歳児は園庭に小さなプールを出し、3・4・5歳児は龍桜高校の浴槽を使用して水遊びをしていました。その際は、水着に着替えていました。コロナの状況次第で水遊びの際の水着の着用も検討します。

### ＜担任と話をする機会がない、2階に上がれない＞

コロナ感染症の状況により今後の状況は不明ですが落ち着いてくれば以前のように2階まで行くことも可能だと思います。但し、保護者の皆様が送迎される際、保育士は保育中です。最低限必要なことのみお伝えいただければと思います。相談事等は、別途でお知らせください。

### ＜意見を具にするものを排除しない保育方針であってほしい＞

保育園の保育方針は『子どもにとって何が大切か』を基本にしています。子どもたちが生きる力を身に付け、主体的に活動して行くことが重要です。大人に言われ、大人にさせられるのではなく自分で考え自分で決める力こそが大事です。0・1・2歳児は大人と協働し基本的な生活習慣の自立を目指し、子どもが自分でしたいと思うまで丁寧に関わります。自然に身についた習慣は3・4・5歳児になると大人に言われなくても自らするようになります。しかし、大人が主導する関わりを持ってきた子どもは、言われないと行動に移せない子になってしまうことにも繋がります。園での生活（行事も含め）は、子どもの遊びの中から学べる機会を奪うことがないように計画します。保育園は、保育方針をご理解頂く努力を怠ってはいけません。保護者一人ひとりの意見、希望をすべて受け入れることはできません。アンケートの結果からは、本園の教育方針について100%の保護者が「あてはまる」「大体あてはまる」と評価してくださいました。現状に満足することなく今後とも保育園の保育方針にご理解いただけるように努めてまいります。

### ＜龍門司坂遠行について 今年ではきたが、毎年雨で中止になっている。時期を変更できないか＞

以前は11月に開催していました。その頃もよく中止になっていました。当日の雨で中止になるだけでなく前日、前々日の天候まで関わってきます。1月に行っていた生活発表会も風邪やインフルエンザ流行の時期と重なることもあり11月に発表会、1月に龍門司坂遠行に変更した経緯があります。その他の行事や、3歳児の体力なども考慮し時期を計画していますが、天候に左右される行事は計画通りにいかないのが現状です。

### ＜その他＞

「毎日大冒険をしてきたかのように楽しかったことを話してくれます。」「ブログを見るのが楽しみです」「家でわらべうたを歌ってくれます」「安心して預けることが出来ます」「支えてくださった皆様に感謝します」「保育方針には何の不満もありません」等の意見も頂戴しました。

※ お忙しい中アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。職員の自己評価、保護者アンケートの結果、苦情処理内容を下記の第3者委員に報告させていただきます。

苦情相談等は、下記の委員まで（園でも、相談や苦情も受け付けます）

### 第3者委員

本多 剛 099-222-3188 鈴木 俊二 0995-62-2583